

(2) 主要魚介類の入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場
(電話) 232-8121

【概要】

養殖本マグロは安定した入荷で前年並みの価格、冷凍本マグロは原料高騰により高値で推移。養殖ハマチは安定した入荷が見込まれるものの養殖に係るコストの上昇によりやや高値で推移する見込み。養殖カキは生育不良の影響で生産量が減少しており高値で推移する見込み。ナメタガレイは安定した入荷と前年並みの価格が見込まれる。冷凍輸入エビは円安の影響によりやや高値、冷凍タラバ、ズワイ、毛ガニは入荷の減少により高値で推移している。筋子は紅サケ不漁により入荷が半減し高値で推移。数の子は輸入品の高騰により国産品へ移行。北海道産を主体に入荷は安定し前年並みで推移する見込み。練製品については値上げも無く順調な入荷のため前年並みの価格で推移する見込み。

【品目別】

マグロ	天然本マグロは北海道、青森産大型魚中心の入荷となる見込み。養殖本マグロは入荷、価格とも安定。冷凍本マグロは入荷安定も原料高騰により高値で推移。国産メバチマグロは塩釜、千葉、和歌山が中心。冷凍メバチマグロは入荷、価格とも前年並みの見込み。
ハマチ	安定した入荷が見込まれるも養殖コスト上昇により高値で推移する見込み。
養殖カキ	県内産は前年に続き生育環境の悪化から生育不良が顕著。全国的な生産量減もあり高値で推移。
タコ	国内産水ダコは浜値が2割安となり安値で推移。三陸産真ダコは入荷減と輸入品の影響により高値で推移。
ナメタガレイ	11月は釧路、根室産、12月は日高産を中心に入荷が増加すると見込まれ、12月中旬から入荷、価格ともに前年並みとなる見込み
タラ	北海道、東北中心の水揚げ。今期は水揚げが遅れており高値で推移も時化の影響が出なければ前年並みの入荷、価格となる見込み
カニ・エビ	ズワイ、タラバガニはロシア産の入荷減、毛ガニは漁獲枠減、また、国際情勢の影響もありいずれも高値で推移。アルゼンチン赤エビは安定した漁獲で前年並みの入荷、価格で推移。ブラックタイガー、バナメイエビは生産量減と円安の影響により高値で推移。
筋子	アメリカ産紅サケ塩筋子は減産のため入荷が減少、また、味付筋子も不漁による冷凍原料の高騰によりいずれも高値で推移。
数の子	アラスカ産原料は減少するも北海道産原料主体の安定入荷により前年並みの価格となる見込み。
練り製品	板かまぼこ、なると等のかまぼこ類、伊達巻などの卵製品は順調な入荷で前年並みの価格で推移する見込み